

令和4年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化を背景に生産年齢人口の減少と社会保障費が増加していく状況において、公共施設等の老朽化対策や頻発・激甚化する自然災害への備え、さらには地域社会のデジタル化の推進など、依然として厳しい状況にあり、地方自治体は課題解決に向け持続的かつ臨機応変に取り組む必要がある。

このような状況の中、令和4年度では、新型コロナウイルス感染症対策やエネルギー・食料品等の物価高騰対策を実施するとともに、第6次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の2年目として、計画に掲げた様々な事業を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計29,720,114千円、国民健康保険特別会計7,670,957千円、介護保険特別会計6,363,235千円、後期高齢者医療特別会計1,059,106千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア 少子化対策事業

子どもの誕生を祝うとともに、子育て家庭の経済的負担軽減を図るため、こども誕生祝金を創設した。

イ まちなか商業活性化事業

まちなかのにぎわいを創出するため、中央通り線出店促進事業用施設整備工事を実施した。

ウ 公園競技施設管理運営

ダノン城沼アリーナ空調設備改修工事設計を実施した。

エ 小学校施設整備事業

第八小学校トイレ改修工事を実施した。

オ 中学校施設整備事業

第四中学校トイレ改修工事を実施した。

カ 幼稚園認定こども園化事業

北幼稚園及び東幼稚園の認定こども園化改修工事を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。

イ ほ場整備事業

ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、野辺地区において実施計画を策定した。

ウ 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図るとともに、本年度は、金券デジタル化システム導入委託を実施した。

エ 産業団地造成事業

産業団地の造成を進めるため、測量設計や調査を実施した。

オ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から令和6年度までの21か年継続事業として整備を進め、本年度の管理用通路舗装工事1,062mを実施し、第一工区が完了した。

カ 中央通り線道路改良事業

平成28年度から令和11年度までの14か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地631.39㎡の取得と12件の補償を実施した。

キ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から令和15年度までの48か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線舗装工事2,135㎡、区画道路側溝布設工事68.6m等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事74.1m、駅西通り線植栽工事460.3m、1戸1棟の建物移転等を実施した。

- ・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事589.9m、西部二号線側溝布設工事128.7m、6戸16棟の建物移転等を実施した。